

KiKiの広場

2017年 8月 1日

cafe NO.82
KiKi



最近我が家の周りでは、カラスがご近所の家庭菜園を荒らしまわっています。網がかけてある中まで入って、トマトやきゅうり・なす・まだ小さなかぼちゃの実などをかじっています。これまでさくらんぼや柿などは、あっという間に食べられていましたが、野菜にまで手を（口か？）伸ばしてくるなんて、このままでは頭のいいカラスは人の天敵になりかねません。スズメはかわいいけど、見るからにかわいくないカラスたち。同じ鳥なのに気の毒な気もしますが、カラスたちにとっても、何だか住みにくい世の中になっているのでしょうか。

8月の予定

休館日	8日(火)
定休日	毎土・日曜日
臨時休業日	14日(月) 15日(火)

「今月のケーキ」・・・「ベリー&ブラッドオレンジケーキ」350円



ブラッドオレンジムースをチョコスポンジで挟み、その上にカシスムースを重ね、いちごとブルーベリーのジュレを乗せた夏にぴったりのケーキです。

キカン限定！6月～8月 マンゴーココナッツケーキ…350円

マンゴーの黄色とココナッツの白が涼しい色合いのケーキです。夏らしく中心とトップにマンゴーをあしらひ、やさしい甘みとなめらかな口どけのココナッツクリームが特徴的なケーキです。



今月のお気に入り・・・「夏を思いっきり楽しもう！！Part2」

～「おほしさまかいて」「なつのゆきだるま」「もものうえのたねまろ」「やぶかのはなし」「ペンギンたちの夏」 などなど～



「おほしさまかいて」は、エリック・カール作です。若い絵描きが声に導かれて描いた星から始まる、まるで、天地創造の世界のような壮大なお話です。太陽が昇り生命が誕生し、絵描きはそれぞれの声の願いを聞き届けて次々と絵を描き続けます。最後にもう一度星を描いた年老いた絵描きは、その星と一緒に空に昇って行きます。絵の美しさとお話の奥深さに魅せられる絵本です。「なつのゆきだるま」の作者は、「どろんこハリー」のジーン・ジオンとマーガレット・プロイ・グレアムのコンビです。冬の終わりに小さな雪だるまを作った兄弟。月の明かりで雪だるまが溶けてしまうと心配した弟がしたことは、大人も巻き込む楽しい出来事に発展します。子どもの思いを大切に考える心温まる絵本です。



今月の本棚・・・「酒井駒子の世界」

～「ロンパーちゃんとふうせん」「しろうさぎとりんごの木」「くまとやまねこ」「なきむしこぞう」「こいゃまてまで」 などなど～



独特の世界観のある酒井駒子さんの絵。作品の下地に黒色を使用し、どこか寂しげではかなげで、暗いと感じる人もいますが、幼い子どもや動物の孤独感と、それを包み込む家族や仲間の温かさが、酒井さんの絵のたまらない魅力だと思います。「ロンパーちゃんとふうせん」のロンパーちゃんとふうせんとの関係、「しろうさぎとりんごの木」の幼いうさぎの子のりんごへの想い、それを優しく受け止めるお母さんたち、かわいくて愛おしくて、ギュッと抱きしめたくなる絵本です。



ほっとフレイク

小学校編・・・3年生のクラスでの読みがたりの時、一番前に座っている男の子がいきなり、「おばちゃん、何歳？」と聞いてきました。みんなもニコニコしながら返事を待っています。私が、「56歳よ。」と答えたたん、子どもたちがざわざわとなり、（えっどうしたの？と思っていると）「あー、言った～！」「ほんとのこと言った～！」と口々に言いだしました。するとある女の子が、「おばちゃん、普通はほんとの年齢は言わんのよ。23歳って言うんよ。」と一言。私が、「23歳はさすがに無理でしょ？」と言うと、「大丈夫、それくらい言ってもええんよ。」と。「じゃあ、今度から23歳って言おうかな。」と言うと、「うん、それがいいと思うよ。」と女の子。周りの子どもたちも笑いながら頷いていました。56歳にして、9歳の子どもたちに世間の常識を教えてもらったひと時でした。(＃^．^＃)